

- 5月23日、山田小学校の5年生全員が田植えの体験学習に五条町に来ました。「5年生の総合的な学習(いきいき学習)」として毎年行われているもので、五条ふるさと環境を守る会が支援しています。当日は快晴の好天のもと、裸足で田んぼに足を入れるなり「ヒュー、キャー、ギャー」と初めての泥田の感触に興奮していました。環境を守る会や農協営農指導員の手ほどきを受けながら一生懸命に稲の苗を取分け丁寧に植付けをしていました。この日植えた稲は「キヌヒカリ」という品種で9月中旬に収穫できます。
- 収穫までの約110日間は守る会の耕作者で管理をしていただきますが、5年生は秋に稲刈り体験学習に来る予定です。みんな今から秋の稲刈りを楽しみにしています。そしてこれからの学校での学習でみんなは稲のことをより深く研究していくとのこと。以前の学年の学習のまとめを拝見すると、稲作の歴史や道具の変遷、世界中の稲の品種のこと、栄養価や食の面からなどグループごとにすごく研究し学習していることに驚かされました。
- 学習田は五条ふれあい会館のすぐ近くにあり、その隣には五条ポンプ場があります。田植え体験の後、ポンプ場の見学もしました。草津揚水土地改良区の職員により田んぼの用水がどこからどのように来ているのか、稲作りにどれほど多くの水が要るのかなどクイズ形式で学習し、実際に動いているポンプも見せてもらいました。
- 実際に田んぼに入って自分の手で苗を植えたり、大きなポンプを見て用水のことを学習したり、子どもたちにはインパクトある体験学習になったのではないかと思います。



